

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

男子60kg級

男子60kg級は昨年のチャンピオン石川が僚友との接戦を制して二連覇達成。

優勝した了徳寺学園の石川裕紀参段は一本勝で準決勝戦に進む。僚友の川端龍武段との準決勝戦は、両者が激しく攻防を重ねるも、石川が開始52秒に奪った背負投の技ありが決め手となる。

準優勝した了徳寺学園の本大会V6の超ベテラン小川武志五段は、オール一本勝で勝ち進み、準決勝戦で矢野大地参段(パーク24)を抑え込む。

準決勝戦第1試合

3石川 裕紀③	(背負投)	2川端 龍
(了徳寺学園)		(了徳寺学園)

準決勝戦第2試合

5小川 武志○	横四方固	3矢野 大地
(了徳寺学園)		(パーク24)

決勝戦

3石川 裕紀②	(指導2)	5小川 武志
(了徳寺学園)		(了徳寺学園)

石川は右一本背負投、左内股、巴投等の多彩な技を繰り出すが、小川は素早い動きでこれを受け流す。しかし、1分55秒、攻めの無い小川に指導1。その後も石川が攻め、小川が守る展開が続き、3分27秒、小川に再び指導。終盤に入ると、リードされた小川は激しく反撃して残り2秒に石川から指導1を奪うもそこまで。